

プログラム作りから記録処理までを効率化 静岡陸協自作陸上競技運営ソフトの概要

文/永田勝久（静岡陸上競技協会情報システム委員長）

陸上競技運営ソフト開発の背景

陸上競技の競技会運営では、選手のエントリーのデータをもとにプログラムを作成したり、計測された記録を入力したり、公認申請用に記録を整理したりする作業が行われます。また、競技会中に正確な記録を1秒でも速く発表することは、陸上競技の競技者や監督、観客に対する最大のサービスです。

これらの作業をスムーズに行える競技会運営システムが販売されていますが、1年間で行われる競技会の大半は、予算も人手も限られる小規模大会です。そこで、静岡陸上競技協会では、このような小規模競技会の省力化と省人化を可能にする安価で使い勝手が良いソフトを開発しました。

約8年前から改善を重ねてきたこのソフトを使用するようになり、静岡県内の競技会の運営スピードが飛躍的に

速くなり、また記録処理が大変楽になりました。

このシステムは、ノートパソコンとコンパクトなプリンター、LANのハブとLANケーブルを持ち運べばどのような競技場でも使用することができます。使用するパソコンの台数が少ないため、使い方がシンプルで、陸上競技協会レベルの予算でも購入できます。

写真判定装置のない競技場で記録を簡単に手入力する工夫をしていますので、最近では、未公認の競技会や記録会、さらには学校の体育大会やマラソン大会にまで使用されるようになっていきます。

ソフトの概要

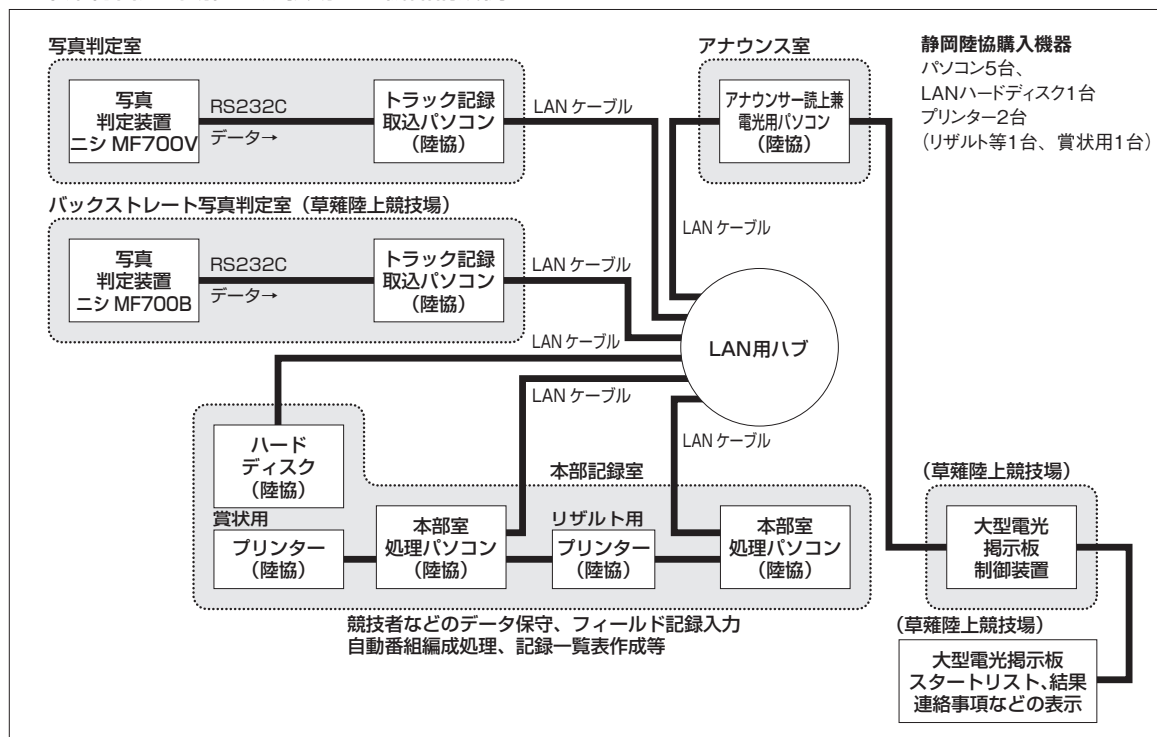
このソフトでは、2～5台のパソコンと1～2台のプリンターをLANで接続し、写真判定装置から判定データを取り込み、本部室のパソコンに取り

込むことができます。アナウンス室では取り込んだ記録を読み上げることができるようにして、記録発表の迅速化を実現しました。静岡県内の一部の陸上競技場では、同時に大型電光掲示板にも結果などを表示できるようにしています。競技結果を取り込むことで予選から準決勝や決勝へ自動的に番組編成案を作成することもでき、さらにフィールド競技の試技内容を本部記録室で入力し、最終的な記録一覧表やインターネット用のファイルも作成できるようにしてあります。

エントリー選手の元データは印刷会社からの提供データを取り込むことも可能で、また簡易のプログラム原稿も作成できるほか、フィールド記録用紙や記録証、賞状の印刷も可能です。

現在、静岡県内の公認陸上競技会・記録会は年間約80大会を行っており、2つの競技会以外はすべてこのソフトを使用しています。静岡国際陸上と高校総体静岡県大会については、市販のソフトで運営し、大会終了後は静岡陸協自作ソフトに記録データを取り込み、最終的にはすべて同じ形式のデー

■ 草薙総合運動場陸上競技場での機器構成例



タとして管理しています。

ソフトの無償提供

このソフトは静岡陸上競技協会が記録処理の迅速化と省力化のために開発したもので、同じような苦勞をされている方のお役に立てばと考え、陸上競技協会などには無償で提供いたします。無償提供の範囲は、営利目的ではない都道府県陸上競技協会、郡市町村陸上競技協会、クラブ学校などの加盟団体、加入団体などを考えています。

ソフトの使用をご希望の協会などは、一度、静岡での競技会を見学されることをお勧めします。下記問い合わせ先

先までご連絡をいただければ、対応させていただきます。3月下旬以降は静岡県内ではほぼ毎週のように複数の競技場でこのソフトを使用した競技会が行われています。

このソフトが多く使われている競技場は、沼津愛鷹、裾野、富士、静岡草薙、小笠山エコパ、浜松四ツ池等の競技場です。

■ 問い合わせ先

静岡陸上競技協会情報システム委員会

永田 勝久 (wbs01936@mail.wbs.ne.jp)

三枝 宣男 (tf_east@yahoo.co.jp)

静岡陸上競技協会記録委員会

赤堀 順一 (wbs02043@mail.wbs.ne.jp)

■ 一般的な機材構成例

